

男女共同参画局

1. 24 年度予算 (案)

24 年度 予算 (案)	23 年度 当初予算額	増 減
407	(363)	44

(単位: 百万円)

<重点事項>

- ・ 女性に対する暴力の根絶に向けた取組の強化 152 (88)
東日本大震災による女性の悩み・暴力に関する相談事業、配偶者暴力相談支援センター設置促進に関する調査研究、女性に対する暴力をなくす運動等
- ・ 震災における男女共同参画の視点からの対応マニュアルの作成・周知 10 (0)
東日本大震災時の避難所、仮設住宅、復旧・復興各段階での状況調査を基に、震災時の男女共同参画の視点からの行政、NPO、ボランティア等それぞれの立場での避難所、仮設住宅、復旧・復興各段階での必要な対応をまとめて各団体に電子的に提供。

<その他の主な経費>

- 地域や民間における男女共同参画の促進 90 (93)
地域や民間の力を引き出すため、地方自治体、NPO等から提案される企画をコンペにより採択し、採択団体が地域で中心となって行う事業を支援する。
- ワーク・ライフ・バランスの展開 19 (12)
各団体が平成 23 年夏に取り組んだ東日本大震災に起因する節電対応としての働き方の見直し、同年秋以降継続されなかった場合の経営面、制度面、人事管理面等の理由や解決すべき課題を分析し、さらに各団体の同年冬の対応等を把握した上で、ワーク・ライフ・バランスが現在十分に浸透していない原因を明らかにすることにより、今後の恒常的なワーク・ライフ・バランスの有効な推進策につなげる。
- 国際交流・国際協力による情報発信 22 (25)
国連、APEC、ASEAN等各種国際会議への積極的参画により我が国の施策・取組について国際社会へ発信するとともに、諸外国の取組を我が国へフィードバックする。あわせて、国際的なネットワークの構築を進める。
- 女性の参画拡大の促進 15 (15)
女性の活躍促進やポジティブ・アクションの理解浸透を図るための施策について、学生によるコンペを行い、若者層を中心に幅広く男女共同参画の浸透を図る。
- その他 99 (131)
男女共同参画白書の公表、HPの整備、基礎資料作成等により、広く情報を提供する。

2. 23 年度第 3 次補正予算

- ・ 東日本大震災による女性の悩みに関する相談事業 2.4 億円
被災地における様々なストレスによる女性等の不安・悩み、女性に対する暴力の懸念の高まりに対応して、被災女性等が安心して利用できる相談サービスを提供する。

(注) 四捨五入の関係で内訳と合計は必ずしも一致しない。

震災における男女共同参画の視点からの対応マニュアル作成・周知経費(新規)

(平成24年度 10百万円)

- ・復興基本方針にもあるように、今後の防災対策に資する調査が必要。
- ・既に避難所が縮小しており、早急に避難所に関する支援について調査する必要があり、23年度既存予算で調査を実施。さらに、今後対応すべき仮設住宅、復旧、復興以降の支援や、避難所の支援も含めた被災者支援の一連の課題の把握とフォローアップの調査が必要。

被災地での対応状況と今後の課題等の調査・分析し、
その調査結果を基に、行動マニュアルを作成し、周知する。

被災地状況調査(復興状況・フォローアップ調査)

- ・男女共同参画の視点による国・自治体、男女共同参画センター、関係団体、NPO等の取組を調査するとともに、物資支給、被災者支援、避難所、仮設住宅、まちづくり等の面での課題や好事例等を広範に調査。

調査結果を基に

マニュアル作成

- ・震災が起きた際の、国・自治体・NPO等の役割や連携及び、男女共同参画の視点の入れた支援・復旧・復興(物資支給、被災者支援、避難所設置・運営、仮設住宅の運営、まちづくり、女性の再就職・起業、DV等女性への暴力対応等)に関する必要な対応をまとめたマニュアルを作成。

マニュアルを基に

震災や防災面での男女共同参画の視点の必要性と対応についての周知

- ・調査結果及びマニュアルの内容を基に、震災や防災面での男女共同参画の視点の必要性とその対応について、周知。

震災復興・今後の防災へ活用